

南郷アートプロジェクト 2011 ダンス公演「DANCE×JAZZ」

スペースベン主宰 田中勉



session 1

今年9月、「デイリリー・アート・サーカス2011」をオープニングプロジェクトとしてスタートをきった「南郷アートプロジェクト」。関係しているスタッフを見ても期待していた事業だ。

コンセプトも、「アートを取り入れ、住んでいる人、訪れる人とともに、身体と心がオドルことをアーティストと実践し、南郷が魅力的な農村となり、新たな暮らしや価値観を作り、発信していく地域になることを目指す」と明確に打ち出す。

その後、いろいろな準備を積み重ね、「ダンスコミュニケーションプロジェクト」として、パレードやプロモーションビデオ撮影等を行い、また、「オドルの楽校」として、南郷各地を舞台に、各ダンサーを中心としたワークショップを開催するなど積極的にプロジェクトを展開し続けた。

そして総仕上げともいえる、ダンス公演「DANCE×JAZZ」。雪を踏みしめながら会場に向かい、何故かいつもとは違う方向から会場内に誘導され入場する。なるほど…。普段、舞台になつていない場所は客席とされ、客席として使用されている場所が舞台となつている訳か。南郷文化ホールを使いつつも、通常のような一段高いステージとそれを単に鑑賞するように設置され



session 2

た客席を取り払い、舞台と客席の密度が濃い関係性が生み出されたその空間に、まずは包み込まれた。そして繰り広げられた3つのsession。

はつきり言つて、「最高に素敵」だった。

汗。りんご。笑い。影。枯れ葉。ノイズ。躍動感。陽気さ。それらがどんとどん身体の中に入り込んでくる。

ダンサーをみても、森下真樹、鈴木ユキオ、Co.山田うんというメンバーが揃い、この組み合わせ自体が魅力的なの言うまでもないが、それに加えJAZZのsessionが現実のものとなつた時、3つのsessionは会場と一体となり、それぞれDANCEとJAZZが単体では成し得なかつた空間が、そこに確かに表出した。そして「そこ」は「東京のどこか」ではなく、確かに「南郷」だったのだ。

そしてもう一つ。ここに至る、モノを作り上げるといふ、全く手間のかかる作業が、南郷の地元の人々を巻き込んで行われていたという。全くもってアートプロジェクトなのだと思ってしまう。何とも贅沢で羨ましい話ではないか。

最高の出演者と最高のスタッフとで作り上げられた公演であり、また、最高の地でつくり上げられた公演であったと思うが、まだまだこれで終わりではない。次への課題も見つかったであろうし、何よりもこれで満足するスタッフではないだろう。

ただ、一見ムダとも思える回り道の大切さを知っているこのスタッフならば、より一層の高みを期待しても間違いはなさそうだ。

何よりも、この「想い」を持つスタッフに、これからは、失敗する自由を捨てず、挑戦し続けてほしいと願っている。

南郷アートプロジェクト2011
ダンス公演「DANCE×JAZZ」
～身体がオドル、心がオドル、あなたとオドル場所、南郷、オドルの種まき、はじめます。～
とき：2011年12月17日(土)19:00開演
18日(日)15:00開演
場所：南郷文化ホール
・session1：森下真樹x Augusta Summit Band 浪男'S DX
・session2：鈴木ユキオx大谷能生
・session3：Co.山田うんxmadrugada
※URL <http://nangoartproject.jp/>



session 3

Friday Amusement Negative Shop

○FANS予定(935~938回) タイトル:だべり場2012.01/構成:FANS ※入場無料。自由放談。
※公演日はホームページでご確認ください。または join-fans-info.tujb@ml.freeml.com に空メールを送ると、公演情報案内のメールマガジンを登録できます。

演劇空間
スペースベン

■八戸市柏崎1-11-8
TEL. 0178-43-9876
FAX. 050-3588-8350
携帯. 080-6025-0990

※特別番組以外 金曜日は午後7時30分～、土曜日は午後2時～
料金/一般前売400円 高校生以下100円(当日100円増)
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認ください。[HP] <http://spaceben.com/> [Eメール] owner@spaceben.com

1月号好評発売中!

新春テーマエッセイ 友・仲間

左館秀之助/関本 真実/小泉 亮
高橋 寛子/霞 正助/山本まゆみ
大黒 裕明/川越 ふさ

八戸の月刊誌
うみねこ
Hachinohe Monthly UMINOKO
1
月号 2012 557号

新春インタビュー
作家 左館秀之助さん(87歳)に聞く

読む楽しみ 読物満載

毎月ご愛読ありがとうございます

発行所/うみねこ出版社
八戸市六日町10 いわくとハルコ3F
TEL・FAX 0178-44-6636